



# 学校だより

平成29年 3月13日  
練馬区立田柄第二小学校  
校長 谷田 弘子

HP <http://www.tagara2-e.nerima-kyo.ed.jp> e-mail [info@tagara2-e.nerima-kyo.ed.jp](mailto:info@tagara2-e.nerima-kyo.ed.jp)

教育目標:元気な子ども・考える子ども・思いやる子ども

No.468

## DREAM、夢があるから強くなる

校長 谷田 弘子

卒業式が近付きました。先日は、「6年生を送る会」が行われ、1～5年生が工夫した出し物で、6年生の卒業をお祝いしていました。最後の6年生の合奏「スターウォーズ」は、迫力のある演奏でした。同じ日にわくわく給食会も行われ、縦割り班で、手作り弁当をおいしそうに食べていました。次の日には、「感謝の会」もあり、前校長先生や旧担任の先生がお見えになり、6年生の成長ぶりに感心していました。いよいよ中学校生活が間近まで迫ってきています。小学校時代の多くの経験や体験をこれからの中学校生活に生かしてほしいと願っています。

「DREAM、夢があるから強くなる」この言葉は、日本サッカー協会会長の川淵キャプテンが発した言葉です。2005年、「2050年までにワールドカップを日本で開催し、日本はその大会で優勝する。」「DREAM、夢があるから強くなる。どんな夢でも、動き始めなければ叶いません。最大限の努力を受け継いでいけば、夢は叶うと私は信じています。」と言いました。

2005年に川淵キャプテンがこの夢を発表してから、日本サッカーは、日本代表チーム、なでしこジャパン、フットサル、ビーチサッカーに至るまで、あらゆる部門で世界大会に駒を進めています。これは世界でも類を見ない素晴らしい成果だそうです。最後にこう結んでいます。「千里の道も一歩から。夢を夢で終わらせないために、それを強く思い続けて。一緒に夢を実現させましょう。」と。

そして、ついに、2011年には、なでしこジャパンがワールドカップで優勝し、2012年にロンドンで開催されるオリンピック

の出場権も得ました。本当に素晴らしいことです。まさに夢の実現といえるでしょう。

6年生も、自分の夢、自分たちの夢を強く思い続け、頑張りたいと思っています。川淵キャプテンの言葉は、「あきらめずに挑戦し続けることの大切さ」を教えてくれています。

川淵キャプテンは、元サッカー選手で、東京オリンピックの日本代表選手でした。その後、日本代表チームの監督となり、1993年（平成5年）にJリーグ初代チェアマンになっています。今から20年以上も前のことです。その1993年（平成5年）Jリーグ開幕式、国立競技場において、川淵さんは、次のように開幕宣言をしています。

「スポーツを愛する多くのファンの皆様に支えられまして、Jリーグは今日、ここに大きな夢の実現に向かって、第一歩を踏み出します。」と。

こうして川淵さんは、新しくプロサッカーの「Jリーグ」を立ち上げ、「J's THEME」という「テーマ曲」を採り入れたり、「Jリーグ」「チェアマン」「サポーター」「ホーム&アウェー」という新しい言葉を世の中に送り出したりしました。どれも夢に実現に向けた挑戦です。

6年生はもちろんのこと、児童はみんな、これから、さまざまな困難に出合うことと思います。夢が叶うまでには、時間がかかります。たくさんの努力が必要です。途中で、挫折そうになることもあるかも知れません。そういう時には、みんなで、

「DREAM、夢があるから強くなる。」という言葉をかけて、応援していきましょう。